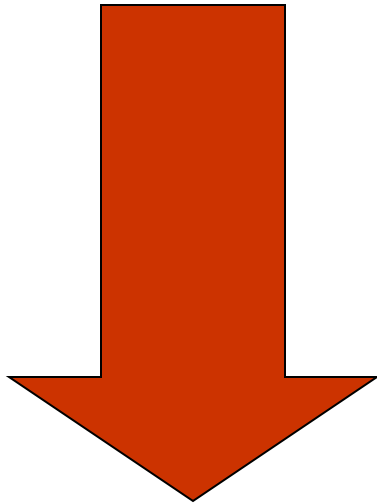


自分年金、真っ当な運用とは ～！～

- I. 投資の目的を知る
- II. 自分の実力を知る
- III. 投資先を知る

投資の目的は？

個人にとって投資の本質は、
「自分と自分の家族を守る」



※1年後が読めない、まして20年、30年
も……

※今と同等の生活水準の確信は？

会社存続、高給、家族に万が一があっても

派手に儲ける必要はない
着実に資産を増やす

ハイリスク・ハイリターン

※危ない金融商品が増えている

自分のバランスシートは？

- ①保有している資産の現在価値
- ②負っている負債の総額は？
- ③資産から負債を差し引いた純資産は？債務超過？

資 産		負債及び純資産	
現金	100		
MMF	150	自動車ローン	400
現金等	250	住宅ローン	8,000
株式	1,200		
投資年金	1,400		
投資資産	2,600	負債	8,400
住宅	12,000		
自動車	800		
その他資産	500		
利用資産	13,300	純資産	7,750
資産合計	16,150	負債及び純資産合計	16,150

投資感覚を磨く

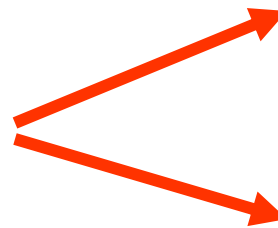
借金の理由: 生活費 → 生活レベルを下げる

その他 → 早く返済

資産形成のベースとは？

収入	
給与収入	500
利子配当収入	5
収入合計	505
支出	
貯蓄・投資	0
住宅ローン	120
自動車ローン	20
保険料	21
固定資産税	15
社会保険料	50
固定支出	226
税金	15
食費	120
交通費	36
住宅費	30
被服費	20
娯楽費	32
医療費	8
寄付	0
雑費	12
変動支出	273
年間収支	6

資産	
現金	100
MMF	150
現金等	250
株式	1,200
投資年金	1,400
投資資産	2,600
住宅	12,000
自動車	800
その他資産	500
利用資産	13,300
資産合計	16,150



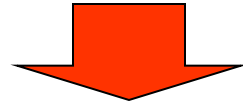
入りを計りて、出を制す

今の生活水準を守る

個人投資家の【投資戦略】

今の生活水準を長期的に守る

生活防衛資金(生活費2年分)を確保

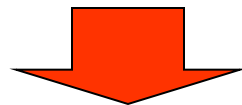


リスクのある資産に充ててはダメ(預貯金、MMF、短期国債)

◆いくら必要 ← 家計支出がベース

個人投資家の【投資術】

◆どうやって → 給与天引き



複利効果を味方に (72の法則)

資産ポートフォリオは？

無形資産	
仕事(技能)	100,000
人的ネットワーク	
生活の知恵	
無形資産合計	
有形資産	
現金	100
MMF	150
現金等	250
株式	1,200
投資年金	1,400
投資資産	2,600
住宅	12,000
自動車	800
その他資産	500
利用資産	13,300
有形資産合計	16,150

年利回り=5%

収入	
給与収入	500
利子配当収入	5
収入合計	505
支出	
貯蓄・投資	0
住宅ローン	120
自動車ローン	20
保険料	21
固定資産税	15
社会保険料	50
固定支出	226
税金	15
食費	120
.....	...
変動支出	273
年間収支	6

最強の投資対象

投資を始める王道とは？

		成功パターン	破滅パターン
貯蓄	ある目的のために、元本を維持しつつ増やす (給与天引き預金)	生活防衛資金の貯蓄	このステップは無視して飛ばす
投資	多少のリスクがあっても積極的にリターンを追及 (株式投資)	↓	
投機	リスクとリターンの関係を見捨て、大きなリターンを追及 (株の短期売買)	間違っても、この領域には手を出さない	↑ 冷静な判断が困難
賭博	論理的な根拠はなく、第六感にのみ頼ってお金儲けを企てる		

- ①金額が同じなら、儲かっている喜び<損をしている不快感
- ②儲かっているときは手堅く、損がかさむとイチかバチか
- ③大きな損失のあとに別の損失を被ると、神経が麻痺する

金融商品選びの鉄則とは？

【1】コスト

【事実】投資のパフォーマンスは、コストがカギを握っている

鉄則

- ◆ 業者に支払うコストを低く抑える
- ◆ 頻繁な取引をしない

【2】単純さ

【事実】騙されたというトラブルは、複雑な商品につきまとう

鉄則

- ◆ 自分でよく理解できるものだけを選ぶ
- ◆ うまい話は、まず疑ってかかれ

【3】流動性

【事実】世の中、何があるかわからない。
流動性の低い商品は、時価もわかりにくい。

鉄則

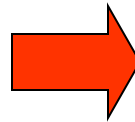
- ◆ いつでもお金に換えやすい商品を選べ

個人投資家の有利さは？

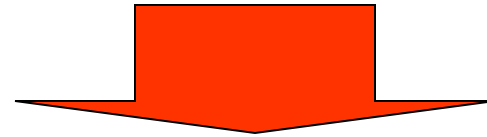
【1】長期投資。市場が最悪のときも投資継続。

個人投資家の強み

- ・決算期に迫られない
- ・第三者に説明しなくてよい
- ・顧客がない



短期的なパフォーマンスが悪くても、
気にせず投資を続けられる



長期間、株を保有すれば、その会社
が倒産しないかぎり勝つ可能性が高い

【2】情報力では、絶対劣る。

雑誌の情報で売買するな